

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

岩出市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

和歌山県岩出市

3 地域再生計画の区域

和歌山県岩出市の全域

4 地域再生計画の目標

岩出市は、2006 年（平成 18 年）に単独で市制施行し、2021 年（令和 3 年）に市制施行 15 周年を迎えました。本市は、和歌山市・大阪都市圏の郊外都市となる立地環境の中、町時代から人口が増加し、特に 1990 年（平成 2 年）からの 10 年間で 15,310 人増加し、2000 年（平成 12 年）の国勢調査人口は 48,156 人となりました。2005 年（平成 17 年）以降は、以前のような大きな増加はありませんが、継続的な人口増加が続き、住民基本台帳によると 2021 年（令和 3 年）3 月末で 53,994 人となっています。しかし、少子高齢化による人口減少は本市においても例外ではなく、国立社会保障・人口問題研究所によると、本市の人口は 2025 年（令和 7 年）から減少に転じ、2030 年（令和 12 年）には 53,471 人、2045 年（令和 27 年）には 50,143 人に減少すると推計されています。

人口構造の割合については、2010 年（平成 22 年）では 0～14 歳が 9,041 人（17%）、15～39 歳が 17,052 人（33%）、40～64 歳が 18,081 人（34%）、65 歳以上が 8,267 人（16%）に対し、2019 年（平成 31 年）では、0～14 歳が 7,629 人（14%）、15～39 歳が 14,838 人（28%）、40～64 歳が 19,345 人（36%）、65 歳以上が 12,096 人（22%）となり、40 歳未満の人口割合が 50%から 42%と減少しています。

本市の社会動態をみると、土地や生活環境などの時代の変化により、転入者については年による増減はあるものの、長期的にみて減少傾向にあり、2020 年

(令和2年)には22人の社会増となっています。

本市の自然動態をみると、少子高齢化の進展により、2017年(平成29年)から死亡による人口減少が増加しており、出生についても、年間概ね10人の割合で減少している状況にあり、2020年(令和2年)には15人の自然減となっています。また、合計特殊出生率をみても、2013年～2017年(平成25年～平成29年)は1.58と全国・和歌山県平均値を上回っていますが、人口置換水準である2.07を下回る状況となっています。

少子高齢化、人口減少の進行は、働き手の減少、地域コミュニティの低下、税収入の減少など、今後の行政運営に大きな影響を及ぼすことが予想されます。

人口減少への抑制を図るため、これまで積み重ねてきたまちづくりをさらに発展させ、人口減少時代に対応した魅力ある岩出市づくりを基本に「活力あふれるまち ふれあいのまち」の実現を目指し、次の基本戦略を掲げ、その達成を図ります。

- ・基本戦略1 人が集う、魅力あるまち
- ・基本戦略2 子育てしやすいまち
- ・基本戦略3 安全・安心で住環境の良いまち
- ・基本戦略4 産業振興による活力あるまち

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2025年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本戦略
ア	社会増(5年間)	0人	90人	基本戦略1
イ	出生数(5年間)	0人	2,450人	基本戦略2
ウ	岩出市に住みたいと思 う人の割合	87%	90%	基本戦略3
エ	商工会会員数	572事業所	600事業所	基本戦略4

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5－2のとおり。

5－2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

岩出市まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 人が集う、魅力あるまちづくり事業

イ 子育てしやすいまちづくり事業

ウ 安全・安心で住環境の良いまちづくり事業

エ 産業振興による活力あるまちづくり事業

② 事業の内容

ア 人が集う、魅力あるまちづくり事業

本市の魅力のである「便利さ・暮らしやすさ」を追求するため、道路、橋梁、上下水道などの地域を支えるインフラ整備や公共施設の機能充実と長寿命化、公共交通機関の利便性向上に取り組めます。また、広域幹線道路の整備に伴う交通の利便性を活かし、交流人口を増加させるため、根来寺や道の駅「ねごろ歴史の丘」を中心とした観光資源の魅力発信に取り組むなど人が集う魅力あるまちづくりを推進する事業。

イ 子育てしやすいまちづくり事業

妊娠・出産・子育てにおいてニーズに応じた切れ目のない支援を展開していくことで、安心して子どもを産み育てることのできる環境づくりに取り組めます。また、子どもたちの確かな学力、豊かな心、健やかな体を育むため、児童・生徒が主体的に学び、楽しさや喜びを実感できる学校教育環境の整備に取り組むなど子育てしやすいまちづくりを推進する事業。

ウ 安全・安心で住環境の良いまちづくり事業

市民の生命と財産を守るため、住宅等への耐震補助やライフライン及び公共施設の地震対策、近年増加傾向にある集中豪雨に対する浸水対策事業を計画的に推進します。また、乳幼児から高齢者まで、すべての市

民が健康でいきいきと生活できるよう、健康診査や健康相談をはじめ、生活習慣病予防や感染症予防対策等への取組を進めながら保健指導の充実に努めるなど安全・安心で住環境の良いまちづくりを推進する事業。

エ 産業振興による活力あるまちづくり事業

優良企業の誘致や商工会、金融機関等との連携による経営課題解決、成長支援等地元企業の活性化や創業支援などにより雇用を創出するとともに、働きやすい環境づくりの推進に取り組みます。また、農業分野については関係機関との連携により、担い手の育成・確保を図るとともに特産品化・ブランド化による高収益化に取り組むなど産業振興による活力あるまちづくりを推進する事業。

※ なお、詳細は第3次岩出市長期総合計画のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

125,000千円（2021年度～2025年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度10月頃に外部有識者による効果検証を行い、検証後速やかに本市公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から2026年3月31日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2026年3月31日まで